

株主のみなさまへ 中間期のご報告

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日

nepia
ネピア



王子ホールディングス株式会社
代表取締役社長

加来 正年

中間期の連結業績ハイライト

売上高	7,085億円	前年同期比 8.6%増	▲
営業利益	637億円	前年同期比 117.3%増	▲
経常利益	688億円	前年同期比 211.5%増	▲
親会社株主に帰属 する四半期純利益	456億円	前年同期比 343.0%増	▲



決算短信をご覧ください。
<https://www.ojiholdings.co.jp/ir/financial/result.html>

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022年3月期第2四半期連結累計期間(2021年4月1日から2021年9月30日、以下、「中間期」)の概要をご報告申し上げます。

当中間期の業績について

当中間期の売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大により停滞した経済活動の再開が進むにつれ、緩やかに需要が回復しつつあることに加え、パルプ販売価格の上昇を受け、前年同期を561億円(8.6%)上回る7,085億円となりました。なお、当社グループの海外売上高比率は前年同期を3.8ポイント上回る32.4%となりました。

営業利益は販売量の増加やパルプ販売価格の上昇に加え、グループ全体でコストダウンに取り組んだこと等により、前年同期を344億円(117.3%)上回る637億円となりました。経常利益は営業利益の増加に加え、外貨建債権債務の評価替えによる為替差益の発生等により、前年同期を467億円(211.5%)上回る688億円となり、税金等調整前四半期純利益は前年同期を456億円(205.1%)上回る678億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期を353億円(343.0%)上回る456億円となりました。

中間配当について

当社は、各事業年度の業績の状況と今後の経営諸施策に備えるための内部留保を総合的に勘案しつつ、株主の皆様へ可能な限り安定配当を継続することを基本方針としています。当期の中間配当金につきましては、当期の業績の状況並びに今後の事業環境等を総合的に勘案し、前年同期と同じく1株につき7円と決定させていただきました。

中間期のセグメント別の営業の状況

生活産業資材

段ボール原紙・加工、白板紙・紙器、包装用紙・製袋、家庭紙、紙おむつ

売上高	3,436億円	前年同期比 11.0%増	構成比 (%)	41.0
営業利益	181億円	前年同期比 39.4%増	構成比 (%)	28.2



国内事業では、段ボール原紙・段ボールの国内販売は、全体的な需要回復がみられることに加え、新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛等から通販向けが引き続き堅調なこと等により、販売量は前年に対し増加しました。白板紙及び包装用紙は、国内及び輸出版売量ともに前年に対し増加しました。家庭紙は、同感染拡大の影響で自粛されていた販促企画及びイベント等が増加したため、販売量は前年に対し増加しました。

海外事業では、段ボール原紙は、東南アジアにおいて、販売量及び売上高ともに前年に対し増加しました。

機能材

特殊紙・感熱紙・粘着・フィルム

売上高	914億円	前年同期比 0.5%増	構成比 (%)	10.9
営業利益	72億円	前年同期比 40.5%増	構成比 (%)	11.3



国内事業では、電動車(電気、ハイブリッド、プラグインハイブリッド)及び燃料電池)向けのコンデンサフィルムやスマートフォン製造工程用のセパレートフィルム及び電子部材用の工程紙が堅調に推移したことにより、販売量及び売上高ともに前年に対し増加しました。感熱紙は、需要は回復傾向にあり、国内での販売量は前年に対し増加しました。

海外事業では、北米、東南アジア、南米では販売量は前年に対し増加しましたが、欧州では減少しました。

資源環境ビジネス

パルプ、エネルギー、植林・木材加工

売上高	1,416億円	前年同期比 18.7%増	構成比 (%)	16.9
営業利益	237億円	前年同期比 256.6%増	構成比 (%)	37.1



国内事業では、パルプ事業は、主に溶解パルプの中国向け輸出が、同感染拡大に伴う経済活動停滞から回復したことにより、販売量は前年に対し増加しました。エネルギー事業は、エム・ピー・エム・王子エコエネルギー株式会社の設備の定期事業者検査等の影響により、売電量が前年に対し減少しました。

海外事業では、パルプ事業は、販売量は前年に対し減少しましたが、パルプ販売価格の上昇を受けて売上高は前年に対し増加しました。

印刷情報メディア

新聞用紙、印刷・出版用紙、情報用紙

売上高	1,176億円	前年同期比 3.0%増	構成比 (%)	14.0
営業利益	108億円	前年同期比 1,463.0%増	構成比 (%)	16.9



国内事業では、新聞用紙は、需要の減少傾向が継続し、販売量は前年に対し減少しました。印刷用紙は、前年の同感染拡大に伴う経済活動停滞の反動から、販売量は前年に対し増加しました。情報用紙は、前年のテレワークの普及によるオフィスでの需要減少が大きく、販売量は前年に対し増加しました。

海外事業では、江蘇王子製紙有限公司において、中国国内での同感染状況が収束傾向となり、経済活動が回復し始めたことから、販売量は前年に対し増加しました。

その他

不動産、エンジニアリング、商事、物流 他

売上高	1,443億円	前年同期比 12.6%増	構成比 (%)	17.2	営業利益	41億円	前年同期比 48.1%増	構成比 (%)	6.5
-----	---------	--------------	---------	------	------	------	--------------	---------	-----

(注)セグメント別の売上高及び営業利益構成比(%)は、調整額(内部取引に関わる調整額等)を除いて計算しています。

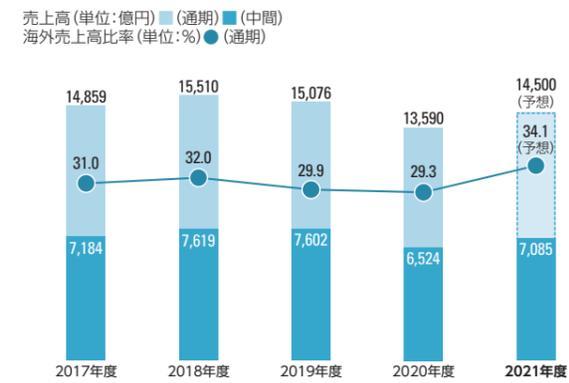
財務データ概況

財産及び損益の状況の推移

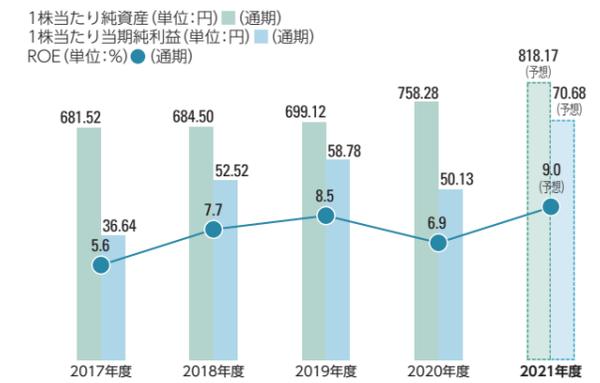
区分	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度(予想)
売上高	(百万円) 1,485,895	1,550,991	1,507,607	1,358,985	1,450,000
営業利益	(百万円) 70,781	110,212	106,125	84,793	120,000
経常利益	(百万円) 65,958	118,370	101,289	83,061	120,000
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円) 36,222	51,977	58,181	49,635	70,000
1株当たり当期純利益	(円) 36.64	52.52	58.78	50.13	70.68
1株当たり純資産	(円) 681.52	684.50	699.12	758.28	818.17

(注) 2021年度通期の予想は第2四半期決算短信発表(2021年11月2日)時点のものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

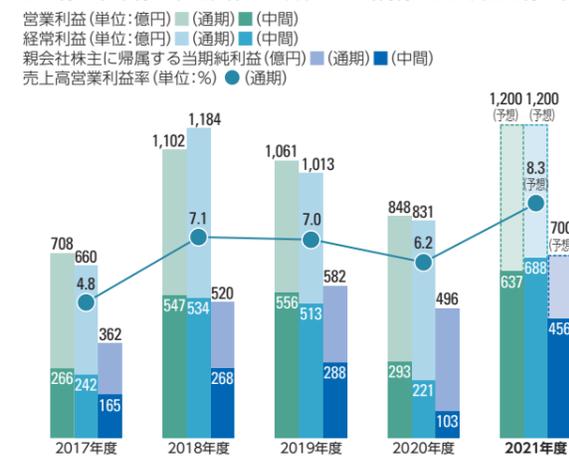
売上高・海外売上高比率



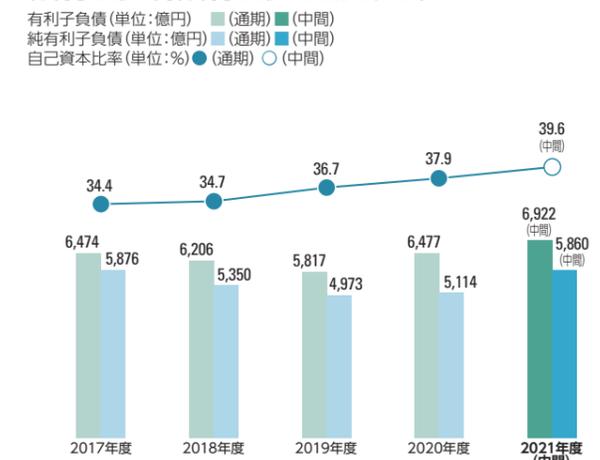
1株当たり純資産・1株当たり当期純利益・ROE



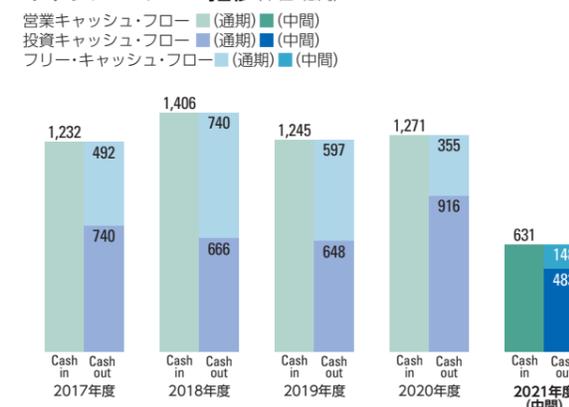
営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益・売上高営業利益率



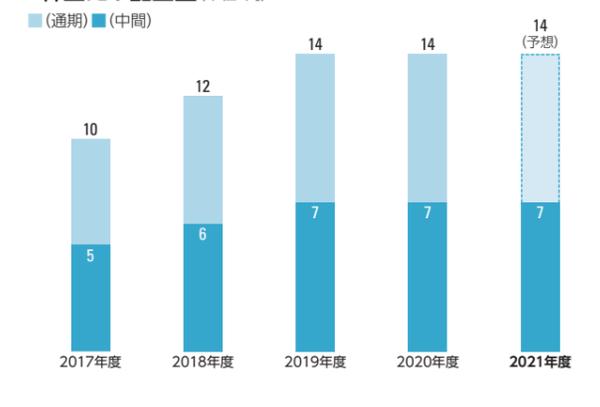
有利子負債・純有利子負債・自己資本比率



キャッシュ・フロー推移 (単位: 億円)



1株当たり配当金 (単位: 円)



2050 ネット・ゼロ・カーボンを目指して



主要原料の木材をはじめ、再生可能な資源を活用する王子グループにとって、自然環境の保全は事業の継続のために必要不可欠です。また、気候変動問題を経営上の重要課題と認識しており、この問題に積極的に取り組むことにより、事業活動の持続可能性を高めることができると考えています。

この方向性を明確に示すため、当社グループが目指す姿「ネット・ゼロ・カーボン」を中核とする、2050年に向けた「環境ビジョン 2050」と、そのマイルストーンとして「環境行動目標 2030」を、2020年9月に制定しました。



「王子グループ 統合報告書 2021」 発行のお知らせ

昨年と同様、ストーリー性を持たせ、読みやすさを追求し、経営理念である「革新的価値の創造」、「未来と世界への貢献」、「環境・社会との共生」に基づいた王子グループの目標・戦略をわかりやすく記載しました。

また、今年度は、近年の世界的な重点テーマでもある「気候変動対応」を特集の1つとして取り上げました。ネット・ゼロ・カーボンを中核とし、2020年9月に制定した「環境ビジョン2050」とそのマイルストーンとしての「環境行動目標2030」、そこに至るロードマップも掲載しています。

統合報告書を通じて、ステークホルダーの皆様の王子グループへのご理解・信頼が深まり、長期的な企業価値向上が図られることを目指しました。

当社ホームページからご覧いただけますので、是非ご一読ください。



王子グループ
統合報告書2021



<https://investor.ojiholdings.co.jp/ja/ir/library/integrated.html>

特集② サステナブルな森林資源

王子グループは、国内外に約58万ヘクタール(ha)もの広大な社有林を保有しています。その内訳は、環境に配慮しつつ、木材生産を主目的とした生産林が約45万ha、生物多様性や流域保全を主目的とした環境保全林が約13万haです。

植林事業開始当時の目的は製紙原料の安定確保でしたが、時代の変化に伴い、森林は持続可能な資源として見直され、その利活用に対して、さまざまな分野から注目が集まっています。さらに近年は、“資源”としてはもちろん、国土や生活環境の保全、水源の涵養、生物多様性の保全、そして二酸化炭素の吸収・固定など、森林が持つ“機能”にも、多くの期待が寄せられています。

王子グループでは、事業と直結した持続可能な森林経営を実践するとともに、脱炭素社会の実現に向けて、森林資源の価値を高め、さらなる社有林の拡大も視野に歩みを進めていきます。



持続可能な森林経営への取組

生産林では、木を植え、育て、伐採した後、再植林を行う持続可能な森林経営を実践しています。また、環境保全林を含め、「環境・社会・経済」に配慮しながら適切な森林経営を行うため、森林認証制度※を積極的に活用しています。2020年度の森林認証取得率は、海外植林地で91%、国内社有林で100%になります。

※ 持続可能な森林経営を目指し、森林が基準通り良好に管理されていることを、第三者機関が審査・認証すること。なお、生産林や環境保全林を含む全体の森林を対象とします。
 例) FSC®(FSC®C016623他)、PEFCなど。



ブラジル・CENIBRA社の事例：生産林(左側)と環境保全林(右側)

海外におけるパッケージ事業の強化・拡大

各地で増大するパッケージ需要に応えるべく、東南アジア・インド・オセアニア地域の9カ国で、あわせて47カ所の製造拠点を有し事業展開を行っています。

これまで、川下の段ボール事業の増設・増強を中心に事業拡大を進めてきましたが、マレーシアで段ボール原紙製造の新マシンが稼働し、年間の生産能力が従来の30万トンから75万トンへと大幅に増加しました。海外でも原紙・加工一貫での事業展開が可能となり、事業基盤が一層強化されます。

パッケージ需要は拡大を続けており、川下の段ボール事業



マレーシア 新段ボール原紙製造マシン

についても、積極的に事業を拡大していきます。初進出となるインドネシアに加えニュージーランドで、それぞれ段ボール工場が稼働し、さらにマレーシアで2カ所、ベトナムで1カ所、計3カ所の段ボール新工場の建設を進めています。また、インドでは既に3カ所の段ボール工場が稼働していますが、同国におけるさらなる事業拡大のため、新たに現地の段ボール製造販売会社を買収しました(発行済株式の80%を取得)。

今後も地域・市場ごとにリスクとリターンを見極め、新拠点設立とM&A双方により、さらなる事業拡大を図っていきます。



インドネシア 段ボール新工場

国内事業の収益力アップ

中長期的な需要構造の変化を見据え、収益力アップ及び国際競争力の強化を図るため、生産設備の集約に取り組んでいます。

王子製紙苫小牧工場では新聞用紙製造マシンを段ボール原紙・クラフト紙製造マシンに改造し、稼働を開始しました。また、王子マテリア名寄工場の段ボール原紙製造マシン2台を停止させ、うち1台を苫小牧工場へ移管し、生産集約を図ります。

保有設備及び地理的利便性を活かし、グループ横断的に生産体制再構築を行い、増加する段ボール原紙の国内・輸出の需要に対応するとともに、激化する競争へも備えていきます。



苫小牧工場 L-1号マシン(N-5号マシン改造後の名称)(段ボール原紙、クラフト紙)

再生可能エネルギー事業拡大への取り組み

エネルギー事業では、さらなる事業拡大を進めており、三菱製紙との合併によるバイオマス発電設備に続き、新たに伊藤忠エネクスと合併で徳島県にバイオマス発電設備を建設することを決定し、2022年9月の稼働に向けて準備を進めています。また、エネルギー事業の拡大にあわせてバイオマス燃料調達の強化を進めており、国内では、未利用木材資源を活用した燃料用チップの調達増、海外では、合法性と持続性の確保に努めながら、インドネシアやマレーシアにおける燃料用パーム椰子殻(PKS)の調達増に向けた取り組みも行っています。



2022年9月稼働予定のバイオマス発電設備

当社グループ製品ご紹介

ついにパッケージもサステナブルな“紙”にできました 「ネピア ネピecoトイレットロール2倍巻4ロールダブル」を発売



王子ネピアの「ネピア ネピecoトイレットロール2倍巻4ロールダブル」は、一部コンビニ・スーパー・ECサイト及び、王子ネピア公式オンラインショップ「nepia 銀座店」で販売しています。この製品は、1ロールあたりの長さが25メートルのものと比較して2倍の長さとなっています。

王子ネピアは、業界に先駆けてFSC®認証紙を採用し、製品パッケージの印刷にはバイオマスインキを使用するなど、環境負荷低減に取り組んでいます。海に流出したプラスチックごみによる海洋汚染問題が地球規模で広がっている中、王子ネピアはこの問題解決の一助を担うべく、プラスチックフィルムの代替として、サステナブルな素材である「紙」をトイレットロールのパッケージに採用しました。

パッケージのデザインでは、美しい海と、そこで暮らす海洋生物を表現し、お客様が本製品を購入される際に、環境に思いを馳せていただきたいという願いを込めています。



ネピア ネピecoトイレットロール2倍巻4ロールダブル パッケージ展開図

2021年5月20日ニュースリリース

<https://www.ojiholdings.co.jp/Portals/0/resources/content/files/news/2021/GzapT3fe.pdf>



株主優待のお知らせ

株主の皆様へ日頃からのご支援に感謝し、下記の2つの株主優待制度を導入しています。

詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

<https://investor.ojiholdings.co.jp/ja/ir/stock/benefit.html>



内容	当社グループ製品 カタログギフト	植林活動応援イベント 『Stop地球温暖化 いっしょに育む“森の力”』
	<p>ネピア 鼻セレブ&長時間フィットマスクのセット例→</p> <p>ネピアティッシュ・トイレットロール・キッチンタオルのセット例↓</p>	<p>「王子の森」での植樹の様相 (静岡県 朝霧)</p> <p>植樹会 ・国内数カ所で開催します。 ・参加を希望される株主様に、抽選で苗木植樹の体験機会をご提供します。</p> <p>木製プレート ・「王子の森」へのメッセージをご記入の上、ご返送いただきますと、その数に相当する本数の苗木を植樹します。</p>
基準日	毎年3月31日(毎年6月ご送付予定)	毎年9月30日(毎年12月ご案内予定)
株式数	1,000株(10単元)以上保有(半年以上継続保有(注))	5,000株(50単元)以上保有

(注) 「半年以上継続保有」とは、基準日(毎年3月31日)において、株主名簿基準日(3月31日及び9月30日)の当社株主名簿に当社株式1,000株以上の保有記録が同一株主番号で2回以上連続している場合をいいます。

「株主様WEBアンケート」ご協力をお願い

株主の皆様からのご意見・ご要望を今後の活動の参考とさせていただくため、WEBアンケートを実施いたします。ご協力いただきますようお願いいたします。

アンケートの実施期間

2022年1月7日(金)まで



Present

ご協力いただきました株主様の中から**抽選で500名様**に、**王子ネピアの公式オンラインショップ「nepia 銀座店」**(下記ご参照)でご利用できる**500円分のクーポン**をプレゼントいたします。

※当選者の発表は、クーポンの発送(2022年1月下旬頃を予定)をもって代えさせていただきます。

アンケートサイトへのアクセス方法

パソコンから



下記のURLにアクセスいただき、アクセスナンバー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://q.srdb.jp/> **アクセスコード** []

スマートフォン・携帯電話から



QRコード読み取り機能のついたスマートフォン又は携帯電話をお使いの方は、右のQRコードから直接アンケートサイトへアクセスいただけます。



メールから



enq@q.srdb.jp へ空メールをご送信いただき、自動返送されるアンケート回答用のURLからアクセスいただけます。

本アンケートは、宝印刷株式会社が運営する「ネットでアンケート」を利用し、実施いたします。宝印刷株式会社については、<https://www.takara-print.co.jp/>をご参照ください。

※本アンケートに関するお問い合わせ先:

kabu@takara-print.co.jp

※平日17時以降、並びに土、日、祝日及び年末年始等の休業日のお問い合わせは、翌営業日の回答になります。

【個人情報の取扱いに関して】

本アンケートでご入力いただきました個人情報は、今後の活動の参考とするための分析及び抽選に当選された株主様へのプレゼントの送付のために使用させていただきます。

その他、当社は、「個人情報保護方針」(<https://www.ojiholdings.co.jp/privacy/>)に従って、個人情報の適正な取扱いに努めてまいります。

王子ネピア公式オンラインショップ「nepia 銀座店」のご案内



プレミアムソフト
トイレットロール

2倍巻に、

新たなラインナップが登場!

オンラインショップ
「nepia 銀座店」
の特徴

- ・オンラインショップ限定商品をご用意!
- ・自宅に届くから便利!
- ・好きな時間、好きな場所でお買い物ができる!
- ・会員限定メールマガジンでお得な情報をお知らせ!

詳しくは、王子ネピア公式オンラインショップのホームページをご覧ください。
<https://shop.e-nepia.com/shop/default.aspx>



ティッシュペーパーやトイレットロール、赤ちゃん用おむつ、介護用おむつまで、毎日の生活に欠かせない商品を、より多くのお客様にお届けしたいという思いから「nepia 銀座店」をオープンしています。

日頃より皆様にご愛用いただける商品に加え、オンラインショップならではの限定商品など、暮らしに役立つ提案を行っています。

会社概要 (2021年9月30日現在)

会社名	王子ホールディングス株式会社		
本社所在地	〒104-0061 東京都中央区銀座四丁目7番5号		
創業	1873年(明治6年)2月12日		
設立	1949年(昭和24年)8月1日		
資本金	103,880百万円		
連結従業員	35,834名		
証券コード	3861		
ホームページ	https://www.ojiholdings.co.jp/		

役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役会長	矢嶋 進	取締役(社外)	奈良 道博
代表取締役社長	加来 正年	取締役(社外)	高田 稔久
取締役	小関 良樹	取締役(社外)	相 幸子
取締役	磯野 裕之	取締役(社外)	長井 聖子
取締役	進藤富三雄	監査役(常勤)	山下 富弘
取締役	鎌田 和彦	監査役(常勤)	大塚 伸子
取締役	石田 浩一	監査役(社外)	北田 幹直
取締役	青木 茂樹	監査役(社外)	千森 秀郎
		監査役(社外)	関口 典子

株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数	2,400,000,000株
発行済株式の総数	1,014,381,817株
株主数	74,913名
所有者別株式分布状況	



株式事務についてのご案内

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

